

令和5年度（2023年度） 第1回柏崎市歯科保健推進会議 会議報告

開催日時 令和5年（2023年）11月15日（水）13:30~15:10

- 令和5年度（2023年度）「第1回健康づくり推進会議」及び「第1回食育推進会議」の報告
- 柏崎市におけるフッ化物洗口の実施状況と効果を説明
- 第2次歯科保健計画の概要と歯科保健事業の取組について説明し、協議を実施

以下意見交換内容

【乳幼児期】

- ・出産前のパパママセミナーで歯科健診を受けた方が、歯周病検診も受診すると考えると二重とは言わないが、整理できるといいのではないか。
- ・他市町村では、2歳児や2歳6か月児の歯科健診がある。その時に保護者も一緒に歯科健診をしているところもある。忙しく歯科健診に行くことができない方にとっては、子どもと一緒に歯科健診ができることはありがたい。
- ・（園を通じての保護者向け啓発チラシについて）今後もこのようなチラシを継続してもらいたい。

【学童・思春期】

- ・フッ化物洗口の効果が出ていることが分かったため、これらのデータを利用し、未実施園に説明し、行政からも要望してもらいたい。できるだけ早い時期に取り組んでももらいたい。なかなか難しいようであれば、歯科医師会へ協力を仰いではどうか。
- ・子どもがフッ化物洗口をしていない園に通っていたため、選択の自由という機会を設けていただけると保護者としてはありがたい。
- ・かかりつけ歯科医がいることが大事だと思うので、小学校からも発信していきたい。

【青壮年期】

- ・若い時からかかりつけ医を持ち定期歯科健診をし、しっかりケアをしていくという考え方はとても大切だと思うので、やはり若い世代への啓発が重要だと思う。
- ・（歯周病検診を）申し込んでも受けない人がいるということなので、今後はそこを改善することが必要。
- ・思い立ってすぐ受診できるような受診しやすい環境を整えることにも工夫できるといい。企業への働きかけを強化すると結果も期待できるのではないか。
- ・オンラインで（歯周病検診の）受診日を気軽に変更できるなど工夫すると、別の日に受診しやすくなると思う。
- ・（歯周病検診に）仕事で行かれない、行こうと思ったときに予約がなくて行かれないというようなハードルを感じるので、職場の理解を得られるよう、市からも働きかけてはどうか。
- ・（障害福祉施設では）健康に気遣う保護者も多くいるので、保護者や利用者に対して職員が歯科についての情報発信ができるように研修を行いたい。

【高齢期】

- ・10年前は80歳代からのサービス利用者が多かったが、現在は90歳代が主流になっている。歯周病検診の対象者を80歳で切るのではなく、制限をなくし、受診のきっかけを増やしてはどうか。

- ・（歯科医院に）御高齢で元気な患者さんがたくさん来られるようになった。ぜひそのような方にも歯周病検診を受診する機会を作ってもらいたい。
- ・交通手段のない人も定期的に受診できるような環境整備ができないか。
- ・訪問診療などもあると思うので、そういったものをPRしてもらおうと受診率も上がるのではないか。
- ・以前は総入れ歯の方が多かったが、最近はインプラントや詰め物などの治療をして歯が残っている方が多いため、職員が口腔ケアをするのも大変だと感じている。